



未来創造 みらいそうぞう

号外その 2

自分の未来・ふるさと小浜の未来・社会の未来を切り拓く人材の育成

令和6年
2月吉日**令和5年度 小浜市教育委員会賞
受賞 小浜市加斗みどりの少年団****@ 小浜市加斗みどりの少年団**

加斗小学校みどりの少年団は、昭和55年7月12日に結成され、今年で44年目の歴史があります。緑を守り育てる活動を通じて、ふるさと小浜の豊かな環境を未来につなぐことを学ぶとともに、緑を愛する豊かな心を育てています。これまで、蒼島の調査・研究を始め、農園での野菜栽培、花壇作りに加え、街頭での募金活動を行ってきました。今年度は、学校林をより豊かな森にすることを目標に5年生が中心となって活動しました。令和5年12月に開催された福井県緑の少年団活動発表大会において、これまで行ってきた調査研究と取り組みを発表し、最優秀賞を受賞するなど、その内容が大いに評価された。この大会で最優秀賞を獲得したことにより令和6年10月19日と20日に、44年ぶりに福井県で開催されることが決定している第47回全国育樹祭において、福井県の代表として参加することになりました。今回の受賞は、長年加斗の自然を愛し、大切に育ててきた先人の思いと、現在に至るまでの取り組みが評価されました。この受賞は、来年度の全国育樹祭での活動発表への大きな励みとなりました。ありがとうございました。



*裏面に、今年度の「加斗小学校PTA広報誌 なたおれ」の記事の冒頭を載せておきます。

小浜市教育委員会賞受賞 木本聡教諭も受賞しました**@ 木本 聡 教諭**

木本教諭は、今年度加斗小学校の5年生担任として、ふるさとの自然を大切にする心の育成のために尽力されています。中でも今年度は、加斗みどりの少年団の活動において、学校林をより豊かな森にするためにはどうすべきか、を子どもたちに投げかけ、課題と改善策を見つけるように、授業を計画し指導を行いました。昨年度は、口名田小学校に勤務し受け持ちの担任児童が、ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会で最優秀賞を受賞しました。長年にわたり、児童の探究心を引き出す児童中心の授業が評価されました。



「令和5年度 小浜市立加斗小学校PTA広報誌 なたおれ」
令和6年3月15日発行予定 掲載記事を少しだけ、紹介します

みどりの風につつまれて 小浜市立加斗小学校 校長 松宮 亨



ここに一枚の写真がある。校長室で大切に保管されてきた写真。軍服を着た方や学生服姿の人、中にはどてら姿の屈強な男性の姿も見受けられる。場所は山の中腹。樹木を植える前の準備作業と思われる。いつ撮られた写真かは定かではないが、服装から判断して、昭和の初期か。急な斜面で踏ん張って、大変な作業であることは容易に見て取れる。これが学校林である。学校林とは、校舎改築の際に使用する木を育てるためのもの。もちろん、樹木はすぐには建築資材として使えない。数十年後にやっと木材として使用できる。自分の利益にならない作業。先輩は何を思い作業をしていただろうか・・・